

## 1 目的

「長野県広域連携推進協議会」のもと、県内の水道事業者に共通する喫緊の課題である「人材の確保・育成」をテーマに、水道事業を担う専門人材の確保・育成と、それを活かす組織体制の調査・研究を行う。

## 2 令和2年度の活動状況

開催回	活動内容
第1回 R3.2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>「人材確保・育成」に関する現状と課題を抽出</li> <li>体制の確保・強化、更なる効率化の観点から、広域連携の基本的な考え方(方向性)を整理</li> </ul>
第2回 R3.2.19	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのような取組が考えられるか意見交換</li> <li>検討すべき広域連携の取組を10項目に整理</li> <li>AI等を活用した最新の施設管理システム等を研究</li> </ul>
第3回 R3.3.23	<ul style="list-style-type: none"> <li>整理した10項目の取組について意見交換</li> <li>今後重点的に検討を進めていく4項目を選定</li> </ul>



### 【検討すべき広域連携の取組を10項目に整理】

- (1) 全県やブロック単位の支援センターの設置
- (2) 実務研修会の充実、人材交流
- (3) 非常時の広域連携
- (4) 業務・運用の統一化、ローカルルールの廃止  
⇒ **R3年度は、上記4項目について検討を具体化**
- (5) 水質検査センターの設置
- (6) 熟練者を技術伝承者として活用
- (7) 共同発注の実施、相互協力
- (8) 施設管理の共同化・集約化
- (9) システムの統一化・共同化・高度化
- (10) 地元業者の確保、地域との連携

## 3 令和3年度の活動状況

開催回	活動内容
第4回 R3.5.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度の活動を踏まえ、4項目について参加団体の実情も交えて意見交換</li> </ul>
第5回 R3.10.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>4項目に関する具体的な取組として、右の①から③までについて検討</li> </ul>
第6回 R3.11.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>右の①及び②について検討</li> <li>右の①の具体案（長野県水道技術アドバイザー派遣等事業（案））を整理</li> </ul>

### 【検討の概要】

- ① **水道に関する専門的な知識・経験・技術を有する県内の水道事業関係職員等をアドバイザーとして県内で活用する仕組み**  
 【目的】 専門人材の支援を必要とする県内の水道事業者の業務の円滑化・効率化を図る。  
 ※上記10項目のうち関連する項目：(1)、(3)及び(6)
- ② **給水装置工事関係の手続等の統一化**  
 【目的】 給水装置工事関係の申込書等の様式、施工基準、指定・更新申請の集約化を図ることにより、給水装置工事関係の手続等にかかる水道事業者と給水装置工事事業者の負担を軽減する。  
 ※上記10項目のうち関連する項目：(4)及び(10)
- ③ **実務研修会の充実**  
 【目的】 官・民それぞれの知識や経験を活用し、県内の水道担当職員の技能を高めるため、研修内容を充実させる。  
 ※上記10項目のうち関連する項目：(2)